

解答例の使い方

完成文の暗記ではなく、条件と伝わり方を確認

答えを写す前に、自分の文章と例の違いを見つけましょう。別の経験や立場でも、問いに答え、条件を満たして説明できていれば認められます。

各問の「確認基準」は、この教材の振り返り用です。自分・読み手・先生が、それぞれ「できた／一部できた／直したい」で見取り、次に直す点を一つ決めましょう。合計点や全国共通の合格基準を示すものではありません。

作文例は、問題と同じ20マス・9mmの原稿欄に配置しています。「使用マス数」は段落頭の空きや途中の改行後までの空きを含み、本文だけの文字数とは別に表示します。数え方は学習ポイントと問題の冒頭を確認してください。

基礎の解答例

問いに合う別の表現も認める

問1 主張と理由を組にする

解答例 私は、朝の読書時間を週一回設ける案に賛成だ。普段は本を選ぶ機会が少ない人も、読書を始めるきっかけを得られると考えるからだ。

考え方 一文目で提案への立場、二文目で読書時間の利点を示しています。反対や条件付き賛成でも、提案に対応した理由があれば成立します。

別の答え方 「私は、朝の読書時間を週一回設ける案に反対だ。朝は提出物の確認に余裕がなく、落ち着いて本を読めないおそれがあるからだ」も考えられる。

確認基準（この教材での目安）

- ・ 何への立場かが分かる。
- ・ 立場と理由が対応している。
- ・ 同じ主張の繰り返しを理由にしていない。

問2 具体例を仮定として書く

解答例 色の違いだけに頼らず場所を見分けられるようにするためだ。例えば、案内図を白黒で印刷しても、教室名や記号があれば目的地を確かめやすい。

考え方 理由は見分けやすさ、具体例は白黒印刷の場合です。経験を捏造せず、考えられる場面として示しています。

別の答え方 色が見分けにくい人、暗い場所で図を見る人などを想定した例もよい。

確認基準（この教材での目安）

- ・ 色以外の手がかりが必要な理由がある。
- ・ 例が理由を具体化している。
- ・ 例を調査済みの事実として断定していない。

基礎の解答例

問いに合う別の表現も認める

問3 決め付けを敬意ある表現に直す

解答例 昼休みの音楽放送に反対する人は、静かに休みたいと考えているのかもしれない。その希望にも配慮しながら、放送の時間や音量を検討したい。

考え方 相手の内心を断定せず、静かに休むという合理的な希望を取り上げています。意見の違いを人格の問題にしないことが大切です。

別の答え方 読書や会話がしにくくなるという心配を取り上げてよい。

確認基準（この教材での目安）

- ・相手への悪い決め付けを除いている。
- ・反対理由としてあり得る心配がある。
- ・心配に向き合う姿勢が分かる。

問4 理由になっているか確かめる

解答例 Aは「長く使える」と「延長する」がほぼ同じ内容なので、理由として弱い。例えば、「放課後の係活動を終えた後でも、本を選ぶ時間を確保できるからだ」と直せる。

考え方 主張の言い換えを避け、延長によって誰がどのように助かるかを説明します。Bの内容をそのまま写さなくても構いません。

別の答え方 帰りの迎えを待つ時間に読書ができるなど、条件に合う別の場面でもよい。

確認基準（この教材での目安）

- ・主張の言い換えを指摘している。
- ・利用時間が延びることの具体的な意味を示している。
- ・根拠のない人数や実績を加えていない。

標準の解答例

問いに合う別の表現も認める

問5 もっともな反対意見に応じる

解答例 確かに、質問箱には人を傷つける投稿が入る心配がある。そこで、先生が内容を確認し、個人を責める投稿は取り上げない決まりを作りたい。質問しにくい人の声も生かすためだ。

考え方 懸念を無視せず、確認の担当と扱い方を具体化しています。ただし、対策で必ず問題がなくなると断定する必要はありません。

別の答え方 箱を置く前に投稿のルールを話し合い、試行期間を決める案もよい。

確認基準（この教材での目安）

- ・提示された心配に正面から応じている。
- ・対策が具体的で実行可能である。
- ・質問しやすさという利点を残している。

問6 読み手に合う理由を選ぶ

解答例 締切をまとめれば、生徒が計画的に提出でき、先生方も未提出の確認や再提出の声かけを減らせると考える。先生方の記入の手間を増やさないよう、教科ごとの連絡を学級委員が転記し、内容の確認だけをお願いしたい。

考え方 読み手に合わせるとは、相手に都合のよいことだけを書くことではありません。提出状況の確認という先生側の必要性和、実施する側の負担への対応を示します。

別の答え方 既存の予定表を共有し、同じ情報を何度も入力しない方法でもよい。

確認基準（この教材での目安）

- ・提出状況の確認など、先生側にも必要性が伝わる理由がある。
- ・教員の負担に触れている。
- ・内容の正確さを確保する方法がある。

標準の解答例

問いに合う別の表現も認める

問7 構成メモで論理を点検する

解答例 ①校内限定の紹介動画に賛成。

②活動を想像しやすい。例えば本の整理を見せる。

③映りたくない人もいる。本人の同意を得て、顔を出さない方法も選べるようにする。

考え方 立場には公開範囲を加え、想定例で利点を示しています。顔や名前を無断で出さない配慮は、便利さとともに考える必要があります。

別の答え方 紙の紹介で十分だとする反対意見も、動画制作の負担と伝え方を具体的に検討していればよい。

確認基準（この教材での目安）

- ・立場と理由が対応している。
- ・例が仮定として示されている。
- ・反対意見と対応がつながっている。

問8 相談席への賛否を述べる

応用 | 使用マス数 160～200マス

解答例 使用マス数 187／本文の文字数 183（段落頭の空き等を除く）

条件を満たす作文例

	私	は	、	図	書	室	に	小	声	で	相	談	で	き	る	席	を	設	け	20
る	案	に	賛	成	だ	。	本	を	使	っ	て	調	べ	る	と	き	、	友	達	40
と	疑	問	を	確	か	め	合	え	ば	、	一	人	で	は	気	付	か	な	か	60
っ	た	見	方	を	得	ら	れ	る	と	考	え	る	か	ら	だ	。				80
	確	か	に	、	静	か	に	読	み	た	い	人	に	は	声	が	気	に	な	100
る	だ	ろ	う	。	そ	こ	で	、	相	談	席	を	読	書	席	か	ら	離	し、	120
声	の	大	き	さ	を	確	か	め	な	が	ら	一	週	間	試	し	た	い	。	140
静	か	な	席	を	十	分	に	確	保	で	き	な	け	れ	ば	、	別	室	を	160
使	う	方	法	も	考	え	る	。	双	方	の	使	い	や	す	さ	を	見	て	180
判	断	す	べ	き	だ	。													200	

考え方 主張、想定できる利点、静かな読書への配慮、試行という順序です。次の反対例も、同じ条件を満たす成立した意見文です。立場自体で正誤は決まりません。

別の答え方 別室の利用可能性を先に確かめてから判断する立場もよい。

確認基準（この教材での目安）

- ・ 提案への立場が明確である。
- ・ 理由が読書や調べ学習と関係している。
- ・ 異なる立場を尊重して取り上げている。
- ・ 対応が図書室の設定と矛盾しない。

問8 相談席への賛否を述べる 別の作文例

使用マス数 160～200マス

別解例 使用マス数 188／本文の文字数 187

別の立場・組み立て方の例

	私	は	、	今	の	図	書	室	に	相	談	席	を	設	け	る	案	に	は	20
反	対	だ	。	静	か	に	本	を	読	み	た	い	人	が	、	話	し	声	を	40
避	け	ら	れ	る	場	所	を	残	し	た	い	か	ら	だ	。	席	を	離	し	60
て	も	、	同	じ	部	屋	な	ら	声	が	届	く	お	そ	れ	が	あ	る	。	80
	も	ち	ろ	ん	、	本	を	使	っ	て	相	談	し	な	が	ら	学	ぶ	こ	100
と	に	も	価	値	が	あ	る	。	だ	か	ら	、	図	書	室	の	本	を	持	120
ち	込	め	る	別	室	が	使	え	な	い	か	、	先	に	確	か	め	た	い	140
使	え	る	部	屋	が	な	け	れ	ば	、	静	か	な	読	書	の	時	間	と	160
相	談	で	き	る	時	間	を	分	け	る	案	を	、	利	用	す	る	生	徒	180
と	話	し	合	い	た	い	。													200

異なる立場でも、問いと条件に合う根拠が示されていれば認められます。

問9 便利さと利用条件を比べる

応用 | 使用マス数 160～200マス

解答例 使用マス数 194／本文の文字数 185（段落頭の空き等を除く）

条件を満たす作文例

	私	は	、	連	絡	を	端	末	だ	け	に	す	る	案	に	は	反	対	だ	。	20
家	で	通	信	で	き	な	い	生	徒	も	い	る	た	め	、	全	員	が	同		40
じ	よ	う	に	連	絡	を	確	か	め	ら	れ	る	と	は	限	ら	な	い	か		60
ら	だ	。	例	え	ば	、	欠	席	し	た	日	に	重	要	な	変	更	を	見		80
ら	れ	な	い	お	そ	れ	が	あ	る	。											100
	確	か	に	、	端	末	な	ら	連	絡	を	ま	と	め	て	探	し	や	す		120
く	、	紙	も	減	ら	せ	る	。	そ	こ	で	、	端	末	で	の	配	布	を		140
基	本	に	し	つ	つ	、	希	望	す	る	人	に	は	紙	も	渡	し	た	い	。	160
家	で	の	通	信	環	境	に	か	か	わ	ら	ず	、	必	要	な	情	報	を		180
受	け	取	れ	る	方	法	を	残	す	べ	き	だ	。								200

考え方 設定にある通信環境の違いを理由にし、端末の利点も認めています。紙を残す対象を希望者にする
ことで、双方の利点を生かす提案です。

別の答え方 端末だけにする立場でも、校内での保存、欠席時の連絡など、通信できない場合の対応を具体的
に示す必要がある。

確認基準（この教材での目安）

- ・ 設定に即した立場と理由がある。
- ・ 利点と問題点の両方を扱っている。
- ・ 例が理由を具体化している。
- ・ 情報を受け取れない人への対応がある。

問10 条件付きの結論を自分で作る

応用 | 使用マス数 160～200マス

解答例 使用マス数 200／本文の文字数 190（段落頭の空き等を除く）

条件を満たす作文例

	私	は	、	希	望	を	優	先	し	て	文	化	祭	の	役	割	を	決	め	20	
る	案	を	基	本	に	し	た	い	。	自	分	で	選	ん	だ	仕	事	な	ら	、	40
得	意	な	こ	と	を	生	か	し	、	責	任	を	も	っ	て	取	り	組	み		60
や	す	い	と	考	え	る	か	ら	だ	。										80	
	た	だ	し	、	人	気	の	役	割	に	希	望	が	集	ま	り	、	必	要		100
な	仕	事	が	残	る	心	配	は	あ	る	。	ま	ず	第	二	希	望	ま	で		120
聞	き	、	残	っ	た	仕	事	の	大	切	さ	を	確	認	し	た	い	。	そ		140
れ	で	も	決	ま	ら	な	け	れ	ば	、	各	自	が	担	当	で	き	る	仕		160
事	の	中	で	く	じ	を	使	う	。	希	望	を	尊	重	し	な	が	ら	、		180
負	担	が	一	部	の	人	に	偏	ら	な	い	決	め	方	に	し	た	い	。		200

考え方 希望優先という軸を保ち、人数の偏りには第二希望の確認と部分的なくじで対応しています。担当できる仕事の中で決めるため、個人の事情にも配慮できます。くじを基本とする意見も、公平さの説明と事情への配慮があれば成立します。

別の答え方 くじを基本にしつつ、担当が難しい事情を先に確認し、交換の相談ができる仕組みにする案もよい。

確認基準（この教材での目安）

- ・基本にする案が明確である。
- ・理由が役割決めの目的とつながっている。
- ・自分の案の弱点を認めている。
- ・必要人数や個人の事情に対応できる提案である。